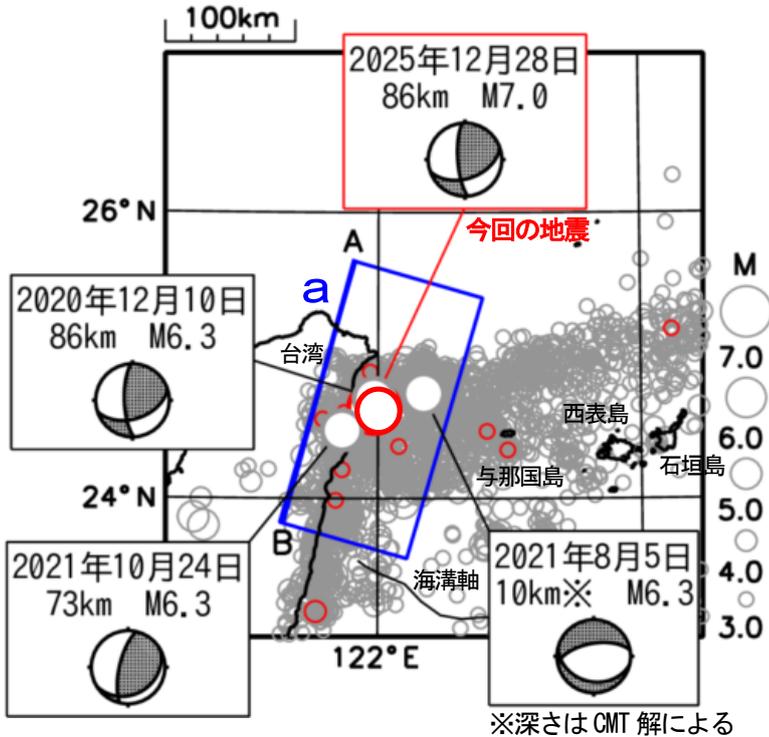


12月28日 台湾付近の地震

震央分布図

(2009年9月1日~2025年12月31日、
深さ40~150km、 $M \geq 3.0$)
2025年12月の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解

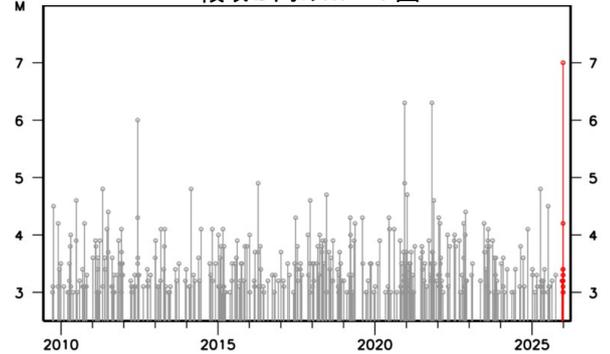


※深さはCMT解による

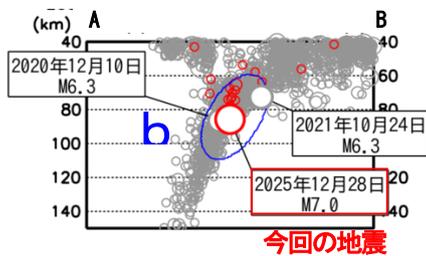
2025年12月28日00時05分に台湾付近の深さ86kmでM7.0の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度3）が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ型であった。

2009年9月以降の活動をみると、この地震の震源付近（領域b）では、2020年12月10日にM6.3の地震（日本国内で最大震度2）が発生するなど、M5.0以上の地震が時々発生している。

領域b内のM-T図



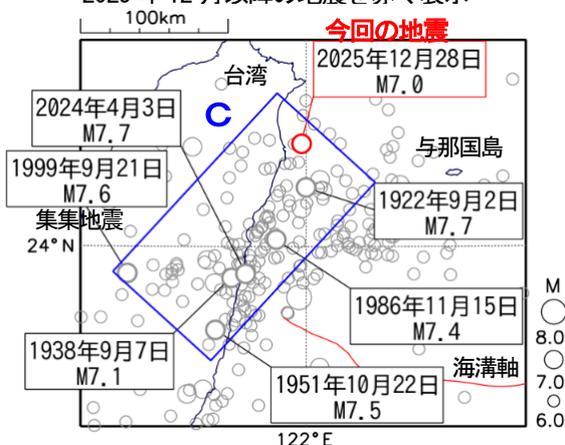
領域a内の断面図（A-B投影）



今回の地震

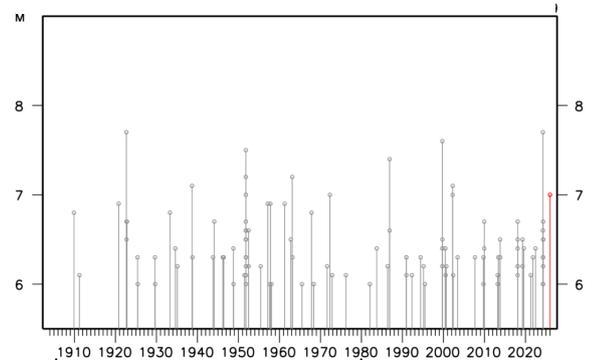
震央分布図

(1904年1月1日~2025年12月31日、
深さ0~100km、 $M \geq 6.0$)
2025年12月以降の地震を赤く表示



2020年までの震源要素はISC-GEM、2021年以降の地震の震源要素は気象庁による。

領域c内のM-T図



この期間は検知能力が低い

1904年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、過去にM7.0以上の地震が時々発生している。1986年11月15日にM7.4の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度3）により、宮古島平良で30cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測し、台湾では死者13人、負傷者45人などの被害があった（被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による）。